

東京PC会について



東京PC会会長
紅谷 敦

平成11年6月、第78回のコンペを行った東京PC会は、一体いつ頃誕生したのだろうか。幹事の三宅氏から貴重な資料を頂いた。それによると、第2回が昭和50年10月3日、平塚・富士見カントリークラブ「レイクウッドコース」となっている。したがって第1回は同じ・年の春頃、久邇カントリークラブで行われたものと考えられ、いずれも超一流コースとなっている。

その時、参加者の総意で現在の名称が決定された。当時の案内状によると、競技・方法は18ホールストロークプレー、ハンディはキャロウェイ方式で順次決定され、参加費5,000円(パーティ、賞品代)、予約料2,000円で返金は2週間前まで、募集人員20名は現在の協会員を当てはめると50名位の大コンペとなる。申し込みは1社1名、経営者または幹部社員と実に厳しく、申し込みは都虫協事務局宛となっている。

- ちなみに第1回の参加者は、
- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 優勝 | 今田氏(神東塗料) | H33 |
| 準優勝 | 芳賀氏(シーアイシー) | H32 |
| 3位 | 紅谷氏(東京三洋) | H20 |

以下、浅川氏(タイガー消毒)、脇黒氏(日本白蟻研究所)、恩田氏(イカリ消毒)、林氏(朝日消毒)、山本氏(日本消毒協)、湯澤氏(日本環境衛生)、原氏(中外製薬)、平岩氏(日本消毒協)となっている。

次に、東京PC会はスタートより20数年、年平均3回強のコンペを行い、出席者は常に20名を越える。これ程伝統的かつ盛大なゴルフ会は全国でもないのではないか。そして国内はもとよりハワイ、タイ、フィリピン等、海外にも遠征し、日本ベストコントロール協会の20周年記念大会を祝い、全国のPCOに呼びかけて、名門「桜ヶ丘CC」を貸し切り大コンペを開催している。

また、PC会メンバーは今日の協会発展に貢献している方々が多く、同時にPC会の発展存続には、三宅幹事の尽力を忘れるわけには行かない。

湯澤氏、恩田氏等のPC会会長のあとを私が承っているが、PC会の友愛、親睦の精神を忘れずに一層の努力をして行く所存ですので、今後とも各位のご協力をお願いする次第です。



西熱海ゴルフ場 S 59 11 26

第100回記念大会は、平成24(2012)年11月30日、よみうりゴルフ倶楽部で開催されました。参加者は10組38名、ダブルペリア方式で行われ、優勝者は清水一郎氏(グロス84、ネット73.2)、2位山田政宗氏(グロス89、ネット73.4)、3位芳賀英武氏(グロス95、ネット73.4)でした。終了後、立川パレスホテル4階ローズルームに移動し、表彰式と合同ブロック会が開催され、83名が参加されました。